

国内最大級“花と緑”に関する総合園芸ショウ
『2015 日本フラワー&ガーデンショウ』
2015 JAPAN FLOWER & GARDEN SHOW

2015F&G 第1回ガーデニングコンテスト 結果発表

公益社団法人 日本家庭園芸普及協会（所在地：東京都中央区、会長：羽田光一）は、全国から最新の花と園芸に関する商品はもとより、園芸・造園の情報、花をモチーフとした一般生活関連商品等を一堂に会した、日本一の花と緑に関する総合園芸パブリックショウ『2015 日本フラワー&ガーデンショウ』を、去る2015年4月10日（金）～12日（日）までの3日間、幕張メッセ国際展示場 9番ホールにて開催しました。

今回のショウは、1991年の第1回開催以来、記念すべき25回目の開催を迎え、ショウテーマを『はじまる！つながる！花と緑のおつきあい』、シンボルフラワーを『百合（ユリ）』とし、出展規模 77社 176小間、来場者数50,365人（10日：11,532人、11日：16,875人、12日：21,958人）で、無事に終了いたしました。

2015F&G 第1回ガーデニングコンテスト 開催概要

この度、第25回の開催にあたり、新たなイベントとして【ガーデニングコンテスト】を実施いたしました。一般園芸愛好家を対象に、コンテナガーデン部門、ハンギングバスケット部門、ミニガーデン部門の3つのカテゴリーで作品を募集したところ、多くの力作が全国から集まり、ショウ開催期間中、作品が展示された会場は、常に多くの来場者で賑わうコーナーとなりました。

本ショウにおける【ガーデニングコンテスト】の実施は、出品者にとって、日頃から培ってきたデザイン力、植え付けの技術、提案性などを活かした作品を、多数の来場者や関係者に披露できるまたとないチャンスになります。また、来場者の多数を占める首都圏在住の一般園芸愛好家にとっては、一流の技術によって作られた作品の数々を間近で見ることができるだけでなく、限られた居住空間における園芸の楽しみ方の実例として、最高の手本に触れることができるという点で、非常に意義のあるイベントとなりました。

実施にあたっては「日々のガーデニングライフのヒントになるような作品」、「これからガーデニングを始めてみたいというきっかけになるような作品」が並ぶようなテーマ設定とすることで、当協会の創設理念でもある家庭園芸の普及及び啓発につなげたいと考え、作品の中に春を表す色として『ピンク色』を効果的に使って、ショウのテーマである『はじまる！つながる！花と緑のおつきあい』を表現していただきました。

コンテナガーデン部門で23作品、ハンギングバスケット部門で31作品、ミニガーデン部門で9作品が集まり、会期前日の4月9日（木）16時より、審査員による厳正なる審査を行い、受賞作品は別紙の通りとなりました。審査員及び審査風景は別紙の通りです。

審査員及び講評

4月9日（日）に下記の10名の審査員によって、審査が行われました。各部門ごとに審査員からの全体講評を、下記のとおりいただきました。

部門名	審査員	プロフィール
コンテナガーデン部門	杉井 明美	園芸家 （有）風のみどり塾主宰
	深町 貴子	園芸家 東京農業大学短期大学部非常勤講師
	羽田 光一	（公社）日本家庭園芸普及協会 会長
ハンギングバスケット部門	山口 まり	日本ハンギングバスケット協会理事
	間室 伸子	日本ハンギングバスケット協会公認講師
	渡辺 優	（公社）日本家庭園芸普及協会 ショウ委員長
ミニガーデン部門	正木 寛	ジャパンガーデンデザイナーズ協会会長
	近藤 三雄	東京農業大学名誉教授 農学博士
	玉崎 弘志	園芸家 明星大学造形芸術学科講師
	前田 博	（公社）日本家庭園芸普及協会 専務理事

■コンテナガーデン部門全体講評

全体的に、植えこまれてから時間のたっていないものや、コンテナの大きさに対して、植物の量が多いものが見られました。コンテナは一番身近な自然を感じられる場所です。様々な工夫や高い技術も素晴らしいのですが、やはり園芸とは、「植物を育てることである」ので、1か月後のコンテナを想像して寄せ植えを作れるとよいのかな、と思います。

■ハンギングバスケット部門全体講評

全体にレベルが高い作品が多く、「ピンク」を使う、というテーマに合わせて、様々なピンクの花が使われて、作者の個性があふれた作品が多かったです。作品全体に春が来た喜びにあふれ、会場に日が当たっているようでした。作品を見てくださった方たちに、ハンギングバスケットの楽しさが伝わったことと思います。

■ミニガーデン部門全体講評

1位から3位の作品はどれも、手堅く作り込んでいて、安心感があります。また、与えられたテーマに対してもきちんと応えていて、色づかいも落ちついていました。「つながる、ひろがる、花と緑のおつきあい」というテーマに対しては、人がそこにたたずんでいるようすや物語性を上手に表現してほしいですね。

4月12日（日）に行われた表彰式では、受賞者に対して、ショウ主催である公益社団法人 日本家庭園芸普及協会会長 羽田光一より表彰状が授与されました。



コンテナガーデン部門受賞者



ハンギングバスケット部門受賞者



ミニガーデン部門受賞者

第1回ガーデニングコンテスト 審査結果 受賞者及び受賞作品（作品タイトル・アピールポイント）

●コンテナガーデン部門

金賞



又村 秀

「和ったかいんだから」

鉢とバックパネルを手作りし、ちょっとモダンな和のイメージを表現しました。

銀賞



伊藤 槇子

「Farm Garden」

摘む・飾る・食べる。花と野菜を一緒に植え込む事で緑ある暮らしのワクワク感を表現しました。

銅賞



伊丹 祐子

「妖精の住む庭」

子供の頃に大切にしていた一冊の絵本、「花の妖精たち」に登場する妖精の美しい世界を表現しました。

奨励賞



川島 由希子

「URBAN GARDEN・春」

ビルの立ち並ぶ都会の店先でお客様が春を感じ思わず立ち止まって見入ってしますようなコンテナに仕上げた。

第1回ガーデニングコンテスト 審査結果 受賞者及び受賞作品（作品タイトル・アピールポイント）

●ハンギングバスケット部門

金賞



田尻 芳子

「花・葉菜 café」

花いっぱいの庭で花好きの仲間たちとおしゃべり。庭の入口には「花・葉菜 café」と書いて・・・。

銀賞



篠ヶ谷 悦子

「花信風」

季は巡り、風にのった香りが知らせてくれる花のたより。いつもの道も、ゆっくり歩いてみよう。

銅賞



雨宮 みずほ

「花かんざし」

愛らしく、キュートなかんざしをイメージした作品です。

奨励賞



又村 秀

「おめでとう！」

おめでとう！の花束。箱の中には「あなたの愛」が一緒に入ってます。

第1回ガーデニングコンテスト 審査結果 受賞者及び受賞作品（作品タイトル・アピールポイント）

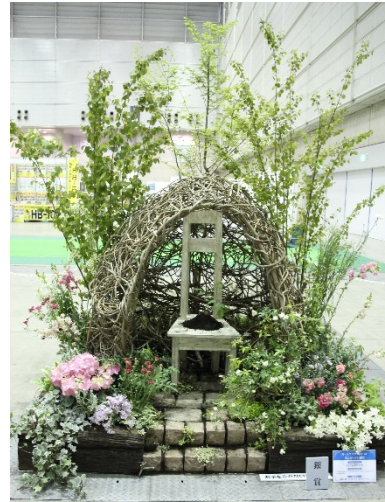
●ミニガーデン部門

金賞



Crescendo Garden 益山 多眞美
「春の光の中で」
春の光にきらめく美しいリーフ。春風にそよぐ草花、心ときめくひと時をミニガーデンから始めませんか。

銀賞



**(株)ガーデンエクスプレス
(株)ブロックマイスター**
「にわものがたり」
ここは過去か未来か。古びた椅子、新しい芽、どこへ育っていくのだろう。そう、これから始まるんだ。

銅賞



株式会社ローズガーデンカンパニー
「Lily's House～初めてののお庭～」
3歳のお誕生日に小さな隠れ家とお庭をプレゼントしてもらったリリィ。これからどんなお花を育てようかな？

奨励賞



**(株)花門フラワーゲート
浅古裕也 山根牙理**
「花時 hana-to-ki」
花盛りの道の先にある小窓。ふと、覗き込んでみると・・・春を感じられるはず